

オペレーターユーザー会

様々なケースでのオペレーターの役割

日本国内では多くの歯科医院でレーザーが導入されており、歯周疾患、外科処置、審美歯科への応用と日常臨床の中で幅広く活用され、患者の皆様へも「レーザー」が広く知られるようになって参りました。レーザー治療に対する知識だけでなく、エビデンスに基づく照射方法の技術も近年求められるようになってきております。そこで弊社では、各分野でご活躍されている4名の講師に、炭酸ガスレーザーについてご講演いただきます。是非ご参加くださいますよう、心よりお待ち申し上げます。

- 開催日 **平成30年 10月14日 日 10:00~15:30**
- 会場 **TKP 仙台カンファレンスセンター** カンファレンスルーム3B
仙台市青葉区花京院 1-2-3 ソララガーデン・オフィス3F TEL.022-200-2614
- 定員 **30名** (定員になり次第締め切らせていただきます)
- 受講料 **5,000円** (消費税/昼食込)
- お申込方法 ヨシダホームページからお申し込みいただくか、下記申込書にご記入の上、FAXにてお申し込みください。下記口座にお振り込みいただき、入金確認をもって受付といたします。

みずほ銀行 本所支店
普通 1884464 カ)ヨシダ仙台営業所

※お振込手数料はお客様負担をお願い申し上げます。
※お振込用紙をもって領収書に代えさせていただきます。
※ご入金いただきました受講料は返金致しかねますのでご了承ください。



WEB から申込で受講料 10%OFF (4,500円)
<http://www.yoshida-dental.co.jp>



■ お問い合わせ・お申込先 **株式会社 ヨシダ** 仙台営業所 担当：藤原 主催： **株式会社 ヨシダ**
TEL.022-272-6353 FAX.022-272-6802

● **2018年4月**
新規保険収載されました

- ・口腔粘膜処置 (1口腔につき) . . . 30点
- ・レーザー機器加算1 50点
- ・レーザー機器加算2 100点
- ・レーザー機器加算3 200点

● **ユーザーの為に会員制情報サイト**
オペレータークラブ

OPELASER CLUB

オペレータークラブ 検索

<https://www.opelaser-club.com/>

「オペレーターユーザー会」申込書 FAX: 022-272-6802 H30.10.14 仙台

(ふりがな) 芳名	貴医院住所 〒
貴医院名	TEL. () FAX. ()
出身校	お取引歯科商店
～ 質疑事項がございましたらご記入下さい ～	

※弊社では申込書にご記入いただいた情報は、社内で適切な安全対策の元に管理し漏洩等の防止に努めております。お客様の同意なく第三者への開示・提供はいたしません。弊社からのセミナー、サービス、新商品のご案内等に利用させていただく場合がございます。



オペレーターユーザーによる発表

オペレーターを使い始めて、効果・効率が上がった日々の診療

原田 啓 先生

城西歯科大学（現明海大学）歯学部卒業
東北大学歯学部第二口腔外科入局
医療法人泉会サトウ歯科（鶴岡市）勤務
《現在》山形県庄内にて開業
医療法人原田歯科
《所属》
東北大学歯学会会員
丸茂研修会 研修生



有病者・高齢者治療におけるオペレーターの活用

仲尾 奈々 先生

大阪歯科大学卒業
《現在》名古屋市 仲尾歯科 勤務
《所属》
日本歯科用レーザー・ライト学会 理事
日本レーザー歯学会 専門医
日本アロマセラピー学会トリートメント
認定歯科医師



炭酸ガスレーザー & 半導体レーザーの併用の一例

金野 俊之 先生

岩手医科大学歯学部 卒業
《現在》仙台市若林区にて開業
《所属》
日本歯科用レーザー・ライト学会 理事
日本歯科用レーザー・ライト学会 指導医
日本レーザー歯学会 会員



■ 講師コメント

OpelaserDualWave が販売されて以来、自分の歯科診療におけるレーザー応用の幅が確実に広がった。それまでは炭酸ガスレーザーでこの治療をするにはどうしたら良いか、どうすれば効果的かを考える必要があったが、この二波長のレーザーの使い分け、併用を考えれば済むようになった。炭酸ガスレーザーは、組織表面で全て吸収されるという特徴があり、半導体レーザーには組織の中に入って行くという特徴がある。また、レーザーハンドピースヘッド（チップの有無）の違いで、レーザー照射自体の考え方も大きく違う。炭酸ガスレーザーは非接触で組織表面を蒸散するが、半導体レーザーは、チップを組織内に挿入することができる。歯内治療、歯周治療、外科治療におけるこの炭酸ガスレーザーと半導体レーザーの併用についてお話してみたい。

平成 30 年度診療報酬改定 「レーザー治療収載 / 対象症例におけるオペレーター応用方法

大浦 教一 先生


朝日大学歯学部卒業
鹿児島大学大学院歯学研究科修了 歯学博士
鹿児島県立大島病院勤務 歯科口腔外科部長
《現在》鹿児島市
大浦歯科クリニック 開業
（社）日本レーザー歯学会 専門医 指導医 常任理事
日本歯科用レーザー・ライト学会 認定医 指導医 常任理事
国際レーザー歯学会 会員
（社）日本先進インプラント医療学会 インプラント 専門医 指導医 専門
AQBインプラント 指導医



■ 講師コメント

平成 30 年度診療報酬改定で炭酸ガスレーザーも口腔粘膜処置、レーザー機器加算を保険算定できるようになった。「口腔粘膜処置」については当該処置の実施にあたって「レーザー応用による再発性アフタ性口内炎治療に関する基本的な考え方（日本歯科医学会）」を参考とすることとされている。その内容について説明し、この基本的な考え方に則った炭酸ガスレーザー照射方法を提示する。「レーザー機器加算」については適用症例への照射方法を提示する。臨床応用における安全照射についてもお話する。

各種展示機をご用意しております。休憩時間には実際にお手にとってお試しいただけます。

主催：  株式会社 **ヨナガ**